

平成24年度 第1回 市民と市長の対話集会 市長と語り合う！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成24年（2012年）4月11日（水）
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 岡崎公民館 集会室
- 3 テーマ 岡崎地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者17名 傍聴者61名



岡崎公民館での集会の様子

5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。今日は多くの方に参加、傍聴にお集まりいただき本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

昨年度は東日本大震災を受け、防災対策をテーマに市内4か所で地域の皆様との対話集会を開催させていただきました。

今年度からの対話集会はそれぞれの地域で、地域の課題を含めたまちづくりについて、地域の皆様の御意見を伺い、市政に反映できるよう行っていきたいと考えています。順番に地区自治会連合会単位で27地区を回っていこうと計画しています。

御存知のとおり、私は公民館主事として、この岡崎公民館で平成7年から平成12年まで働かせていただきました。岡崎地区の皆様には本当にお世話になり、一緒にまちづくりを進めるお手伝いをさせていただきました。さらに、今年度からの対話集会を岡崎地区でスタートさせていただくこともあり、岡崎地区にはとても縁を感じています。

平塚市のまちはそれぞれの地域において、人材、歴史、資源がとても富んでいるまちです。私にはこの素晴らしい地域の集合体である平塚市をより輝かせたいという信念、思いがあります。

対話集会の開催にあたり、地域の皆様のそれぞれの御意見を伺い、市政を考え直す色々な視点をあたえていただければありがたいと思います。自ら地域へ伺い、地域の皆様の御意見を直接聞かせていただくことが市政への反映につながると考えます。今日は皆様の思いをぶつけていただきたいと思います。具体的なお答えについて、一旦持ち帰らせていただき回答させていただくこともあるかと思いますが、まちづくりについての大きな考え方については、ぜひ私からお話を申し上げたいと思います。どうぞ、今日はよろしく願いいたします。

6 対話集会の内容

① 自然環境の発展、公園の管理について

【参加者】

岡崎地区の自然環境は素晴らしいですが、緑が減っています。明日を担う子どもたちのためにも、自然環境を守り、発展させてほしいです。

また、公園の樹木の剪定について、行政は定期的に行ってくれます。しかし、生い茂った時などはごみが捨てられ、防犯上も良くないと思います。頻繁に剪定を行うために、丈の低い樹木の剪定を地域の住民に任せてほしいです。

【市長】

自然環境を活かしたイベントも含めて、自然環境を守り、発展させることには力を入れていきます。

環境の保護のために、今までは行政の取り組みの中で行ってきた河川の除草等を地域の皆様にお願ひし、自然の保護を地域の皆様に担っていただいています。公園についても、地域には公園の面倒をみていただく公園の愛護会もできています。これからも地域の皆様のお力をお借りして、河川、公園の管理ができればありがたいと考えます。

また、地域の皆様にお願ひするだけでなく、行政が管理への支援の協力をする必要であると考えます。

【参加者】

岡崎地区のふじみ野第三公園の夾竹桃（きょうちくとう）の剪定期間について、夾竹桃の花が咲いている8月中旬から剪定が行われます。花が咲いている時期をずらして行えませんか。

【市長】

公園の夾竹桃の剪定の時期については、花が咲いている時期をずらした剪定が行えるかを担当課にて考えさせていただきます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

現在、260か所を超える公園、緑地があり、剪定の要望は年々増える中、対応には大変苦慮しています。各公園の剪定を順次行うため、全て適時に行うことは難しい状況ではありますが、開花時期などを極力考慮して剪定を行ってまいりますので御理解をお願いいたします。

（事務担当はみどり公園・水辺課公園施設管理担当）

② 鈴川について

【参加者】

鈴川は野鳥も多く素晴らしい川です。ふるさとの川である鈴川を開発し、市民の憩いの場となるようにしてほしいです。

【市長】

岡崎地区、鈴川の自然環境を守っていくことを訴えていただくことはとてもありがたいことです。この5月1日からはじまる鈴川鯉のぼりまつり等でその素晴らしさを発信することもとても大切なことです。

鈴川は県の管轄ですが、平塚市のふるさとの川です。子どもたちが川で遊び、楽しい思い出をつくるような場所であるよう、今後も県と協調して取り組んでいきたいと考えます。

旭地区に河内川があります。はじめは汚れが目立つ川でしたが、地域の皆様があじさいを植え、環境づくりをしていただいたおかげで、今では多くの子どもたちが遊び、魚も戻ってきたという例があります。

鈴川にはカワセミの写真を撮りに来られる方もいて、とても美しい川です。この素晴らしい鈴川の環境を保ち、次の代に受け継いでいくことへの取り組みもしっかりと行いたいと考えます。

【参加者】

鈴川について、散歩をしていて困っていることは、豊田地区から岡崎地区までの間にトイレがないことです。1時間から1時間半程歩く間にトイレがないことは非常に不便です。県の管轄であると思いますが、鈴川が憩いの場となるためにも、川沿いにトイレを設置していただきたいです。

【市長】

鈴川鯉のぼりまつりにも多くの方が来ていただきます。以前からトイレの課題を伺っています。県の管轄になるので、豊田地区から岡崎地区にかけて、人々が集まり、憩いの場となるための一つとして、トイレの設置を県に訴えていきたいと考えます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

岡崎地区の鈴川については、神奈川県（平塚土木事務所）の管理する二級河川となっています。

トイレ設置の御要望については、神奈川県平塚土木事務所にお伝えします。

（事務担当はみどり公園・水辺課水辺・海浜担当）

【参加者】

平塚市では渋田川の桜が有名でとても美しいです。ふるさとの川、鈴川にも桜を植樹していただきたいです。川沿いの土手に桜がきれいに咲けば、この時期には多くの人が集まる場所になると思います。

【市長】

先週の日曜日、渋田川では桜まつりがありました。8連合自治会の皆様のお力によりお祭りが開催されました。渋田川沿いには113本の桜があるということです。

植樹から現在の状態になるまでには長い期間がかかりました。土手には水防対策の観点から規制があり、木を植えることができない場所もあります。様々な課題を乗り越えた地域の皆様の思いが現在の形となっています。

鈴川への桜の植樹についての管轄は県になりますが、担当課にて、渋田川の桜の植樹方法も含めて確認をさせていただきます。

担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認をしました。）

渋田川の桜の植樹は、流域の自治会等で構成している市民団体「21 渋田川プロムナードプラン推進協議会」が実施しているものです。河川用地への樹木の植栽は、管理者である神奈川県への占有許可を要することと、河川法の規定上から国・自治体等以外の市民団体が河川を占有することは不可能であることから、本市が河川占有の許可申請などを行い支援しています。鈴川でも、今後同様な活動が実施される場合には、同等の支援を検討すべきと考えます。

なお、岡崎地区の鈴川では、毎年「鈴川鯉のぼりまつり実行委員会」が「鈴川鯉のぼりまつり」を実施しており、本市でも渋田川の桜の植栽と同様に、河川占有許可申請などの支援をしています。

（事務担当はみどり公園・水辺課水辺・海浜担当）

【参加者】

桜の植樹も含めて、鈴川を平塚市の観光資源として考えていただきたいです。

【市長】

現在、平塚市では渋田川の桜、湘南平など、多くの素晴らしい場所があり、観光名所として発信を行っています。鈴川も含めた平塚市の素晴らしいものをつなぎ合わせ、人を呼び込むような観光の施策を行っていきたいと考えます。

例えば、現在本市ホームページでは市内の桜の開花状況を掲載しています。実は、渋田川の桜が有名になり、それを旅行会社が聞きつけ、今日も千葉から

バスで観光に来てくれたとのこと。大変うれしいことです。

【参加者】

鈴川にはサイクリングコースがあります。コースが寸断されているところがあり、コースの道は荒れています。寸断されている箇所の接続と荒れているコースの修繕をしてほしいです。

【市長】

平地が多い平塚市において、自転車を活用した健康づくりは大変重要であると考えます。また、自動車を使わず、自転車によるクリーンな移動手段を考えることも大切です。コースには寸断されている箇所があるとの御意見も伺っています。

担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認をしました。）

本市土木補修課では、市民の皆様からの要望について、日々パトロールにて現地確認を行った上、対応について検討しています。御要望のサイクリングコースの道が荒れているため修繕を行ってほしい、とのことですが、場所など、詳しい情報をいただきたいと思っておりますので、一度土木補修課まで御連絡くださるようお願いいたします。

（事務担当は土木補修課道路維持補修担当）

御要望いただいたサイクリングコースのコースが寸断されていることについて、場所が特定できなかつたため、お手数ですが市民情報・相談課まで場所の御連絡をいただくようお願いいたします。

（事務担当は土木総務課道路総務担当、市民情報・相談課広聴・相談担当）

【参加者】

鈴川は子どもたちが遊べるような川になると良いと思います。子どもたちの目線で、鈴川が魅力ある川になるためには、生態系を呼び込み、色々な生き物を見つけられ、触れあえるようになることが必要です。そのような環境で育った子どもたちは、将来、地球環境、自然環境のことを考えられる大人になると思います。相模川の河口で開催している「水辺の楽校」を鈴川でも開催していただきたいです。

【市長】

私も、鈴川で魚を取り、遊び育った人間です。鈴川の楽しさを知っています。相模川の河口では、「水辺の楽校」を開催していて、子どもたちが生態系に触れる機会があります。鈴川での開催については担当課で考えさせていただきます。

また、川の護岸整備においても、生物が生息できる環境を維持しながら整備を行っています。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

馬入における「水辺の楽校」については、国（国土交通省）が施設の整備を実施し、平成13年にオープンしています。現地における自然観察会などの具体的な活動は、「馬入水辺の楽校の会」という市民団体が企画実施しており、本市も関係機関との調整や印刷物の作成などの支援をしています。

馬入以外の地域においても、同種の市民の活動がある場合には、どのような支援ができるかを検討します。

なお、御要望いただいたことについては、教育委員会及び博物館にもお伝えいたします。

（事務担当はみどり公園・水辺課水辺・海浜担当）

【参加者】

鈴川の近くを散歩すると、歩道がなく整備されていない危険な橋があります。しかし、近くには新しい橋があるのですが、通行止めで誰も通ったことがありません。もう少し、利用者のことを考えて橋をつくってほしいです。本当に土木工事に優先順位が正しくつけられているのかを疑問に感じます。

【市長】

地域の課題、問題については、地域の皆様でないと分からないこともあります。地域の不都合についての声は個人の声だけでなく、自治会単位、住民の総意という形で行政にあげていただくと大変助かりますのでよろしくお願いいたします。

③ 岡崎公民館について

【参加者】

岡崎公民館について、エレベーターを設置してほしいです。高齢者が多く利用する施設ですのでエレベーターは必要です。また、バリアフリー化が遅れていると思います。

【市長】

市内の公民館は建て替えを行う必要がある館もあり、改修は計画的に行っています。各公民館の不都合については、担当課で把握をして改修の計画をします。今日御意見をいただき、すぐに岡崎公民館の改修を行うことは難しいですが、課題として取り上げさせていただきます。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

既存の建物に新たにエレベーターを設置することについては、設置スペースや建物の構造の問題、多額の費用が掛かる点などを十分勘案しなければなりません。また、トイレの段差については、解消するのに扉や床なども含めた広範囲の改修が見込まれることから、まずは段差に対する注意喚起を行うようにしていきたいと考えます。

施設のバリアフリー化については、課題であることを認識しています。いずれにしても限られた予算の中で市内に26館ある公民館の修繕や改修を早期に行う必要がある設備もあるため、公民館全体の位置付けの中で安全面に配慮しながら対応を考えていきたいと考えますので御理解をお願いいたします。

（事務担当は社会教育課中央公民館）

④ 交通、買い物難民について

【参加者】

岡崎地区は生活圏が伊勢原市です。岡崎地区の平塚市における位置付けについて聞きたい。

【市長】

確かに、岡崎地区の皆様の生活圏は伊勢原寄りです。実際に伊勢原市岡崎もあるくらいです。

しかし、平塚市の中では岡崎地区の皆様にも同じように行政サービスを受けていただき、平塚市を支えていただく地域であると考えます。岡崎地区の課題もしっかりと捉えながら行政を行っていきたいと考えます。

【参加者】

大好きな岡崎地区にはこれからも住みたいと思っています。病院への通院のための交通が不便です。また、パークゴルフ場に行ったり、市内の花を観に行ったり、美術館、博物館も利用したいです。そのための交通手段としてのコミュニティバスを走らせてほしいです。

【市長】

神田地区ではコミュニティバスを走らせています。地域に病院がないことを補うための平塚共済病院、平塚市民病院を経由するバスです。医療機関に通うためのバスだけでなく、岡崎地区に住む皆様の生活や娯楽のための交通手段としてのコミュニティバスについても、担当課に確認をし、回答させていただきます。

平塚市では神奈中バスがノンステップバスを購入する際に補助金を出しています。この岡崎地区を走る神奈中バスの営業所は伊勢原市にあります。伊勢原市にある営業所に平塚市から補助を行うことはできませんので、先日、伊勢原市長には、ぜひ同様の補助のお願いをしました。

コミュニティバスの運行のためには、神奈中バスとの連携も考える必要があると思います。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

本市では、一部でシャトルバスを運行していますが、これは病院のない神田地区の外来通院者の交通利便性の向上を図るため、神田地区と市民病院を結ぶ交通手段として運行しているものです。その他、公共交通が不便な地域に対して、路線バスを補完する交通手段としてはコミュニティバスや乗合タクシーなどの地域公共交通が考えられますが、本市ではまだ導入に至っていません。

本市の交通政策としては、今後さらに進む高齢社会への対応や交通不便地域への対策など市民ニーズに応じた地域公共交通の確立が求められることから、地域、行政、交通事業者が協働で十分な議論を進め、その地域にあった交通手段を検討する必要があると考えています。将来にわたり持続可能な交通にするためには、地域が主体となり、様々な事業主体と連携し、地域生活の形成に向けた無理のない交通手段を選択することが必要であり、本市もその取り組みに対して支援してまいります。

(事務担当はまちづくり政策課まちづくり政策担当)

【参加者】

岡崎地区には買い物難民の課題があります。高齢者が増え、自動車の運転も減っています。買い物難民の課題を解決してほしいです。

また、他の市ではスーパーマーケットが独自にバスを走らせ、買い物客の送迎を行っているところもあるようです。

【市長】

御意見のとおり、スーパーマーケット等が巡回バス等を運行していただけることは助かります。

本市においても、少子高齢化は大きな課題です。高齢化率は上がり続けています。買い物ができなくなることについても、行政は課題として対策をする必要があります。このことについては、担当課にも確認をして課題として取り組みたいと考えます。

担当課回答 (集会后、次のとおり担当課に確認をしました。)

近年、少子高齢化のみならず、経済情勢や消費行動等の変化に伴って、商業を取り巻く環境も変化し、買い物に不便を感じている高齢者が全国的に増える傾向にあります。

本市においても、大型のスーパーマーケットなど、自家用自動車の利用を想定した商業施設の立地が増えたこともあり、自動車を利用できない方にとって日常の買い物が不便となる状況にあります。本市としても、高齢者等の買い物を支援する施策の実施に向け検討を始めています。

各地域における新たな店舗や商業施設の誘致は、行政の施策だけでは実現が難しい点も多くありますが、今後も関係団体と連携を図り、市民の皆様の買い物の利便性が向上するよう努力してまいりますので、御理解をお願いいたします。

(事務担当は商業観光課商業担当)

⑤ 防災対策について

【参加者】

岡崎地区には独居生活をする高齢者が多くいます。独居高齢者に対する防災対策について聞きたい。

また、災害後の復興対策について聞きたい。

【市長】

高齢化社会の中、独居高齢者への防災対策は課題です。災害時の要援護者支援対策を進め、登録をいただいておりますが、まだまだ登録は進んでいません。地域では、独居高齢者、障がいのある方の情報の把握を行政と協調しながら進めていただきたいと考えます。地域での要援護者の把握が災害時の救助に大きく影響します。障がいのある方が御自身の障がいについて地域の皆様に知らせていただくのではなく、災害時に援助が必要な自分がいることを地域の皆様に知ってもらうことが重要であると、障がいに係る団体にも説明しています。

岡崎地区は人のつながりが強い地域であると思います。私は人のつながりを「絆」という言葉で表現してきました。防災対策のためにも、人のつながり、「絆」を強くし、地域を地域の皆様で守っていただくことをお願いし、協調していきたいと考えます。当然、行政もつながりづくりへの支援をさせていただきます。

地域防災計画には復興対策も盛り込まれています。今後の復興対策には津波災害への対策も加える必要があります。海岸地域の備蓄を高いところに移すこと、災害時の仮設住宅を高いところに造ること等の新しい計画が着々と進んでいます。

なお、現在、平塚市の防災マップを作成しています。平成24年度中に市内全戸にお配りする予定です。

行政が行っている防災対策については、これからも報告、周知を行っていきます。

担当課補足（集会後、次のとおり担当課に確認をしました。）

平塚市災害時要援護者避難支援プラン全体計画に基づいた地域の助け合いという「共助」の取り組みとして、平成22年度から各地区の自治会連絡協議会（連合会）に主体となっただき、自治会役員や民生委員児童委員の方々が、各地区で援護が必要な高齢者や障がい者の方々への登録呼びかけや、また支援していただける方も併せて募集することで、地域の中で必要な支援が受け

られるようにする取り組みが進められているところです。

しかし、個人情報保護の問題から登録された方の情報は、平常時においては地域に周知できないという制約があるため、実際に災害が起きた時に要援護者に情報提供や避難所への避難誘導等をして頂ける支援者を探すことに苦慮しているという課題を抱えています。

(担当は防災危機管理課危機管理担当)

【参加者】

岡崎地区のふじみ野では、東日本大震災の後、防災対策の勉強会を行ってきました。どのようにして災害を軽減するかという減災の対策について、一年間地域の住民と一緒に学びました。耐震化対策、家具の転倒防止対策等を学びました。

【市長】

自分の命は自分で守るという自助の部分において、耐震化対策、転倒防止対策は家庭で可能な取り組みです。ぜひ、お願いいたします。

行政は公助という部分で、これからもしっかりと対策を行っていきます。そして、一番大切な地域のつながりの中で地域の皆様を守っていただくという共助についても、改めて御協力をお願いいたします。

⑥ 老人クラブの補助金について

【参加者】

岡崎地区には老人クラブが7クラブ、会員が約430人います。老人クラブへの補助金が年々減らされています。市の財政状況は理解していますが、これ以上の減額はクラブの運営に支障が出ます。元気な高齢者を増やすことが市の財政にも良い影響を及ぼすと思います。

【市長】

補助金の減額について、言い訳になって申し訳ありませんが、平塚市の収入は残念ながら年々減っています。その中で、老人クラブだけでなく他の団体の補助金も減らさせていただいています。

元気な高齢者を増やすことが保険料、医療費等の財政に良い影響があることは誠にそのとおりです。

現在、景気対策のための施策をさせていただいています。これは教育と同様にすぐに効果が表れるものではありませんが、将来のための経済活性化につながる施策を行わせていただきながら、申し訳ありませんが、補助金の減額は行わせていただいています。老人クラブが活動しやすいような体制づくりはお手伝いをさせていただきますので、皆様のお力でカバーをしていただき、活動を行っていただきたいと思いますので御理解をお願いいたします。

【参加者】

岡崎地区では老人会が毎朝のラジオ体操、防犯パトロール、公園の清掃等を行い、地域に貢献しています。ラジオ体操では地域住民の交流という面でも大変役に立っています。補助金を一律に減らすのではなく、財政や地域への貢献度で削減額を決めても良いと思います。

【市長】

地域の皆様には様々な面で行政への御協力をしていただいています。御提案をいただいた観点からの補助金の出し方についても、今後考えていきたいと思っています。

⑦ 後継者、高齢者対策について

【参加者】

おかざき鈴の里でボランティアをしていますが、後継者が不足しています。
また、岡崎地区には独居生活をする高齢者が多いです。給配食サービス等を行う業者と連携し、安否、健康確認をすることはできますか。

【市長】

後継者対策について、私も公民館主事の時に様々な事業を提案していただきました。家庭教育学級に係るPTAのお母さん方からの事業もありました。この地域では皆様が講座を考え、取り組む形ができていました。社会貢献、学習、地域づくりへの意識がとても高い地域ですので、そのような方達をこれからの担い手として育てていただける流れができるとありがたいと考えます。

地域の皆様に高齢者の方を見守っていただきながら、業者にも安否、健康確認をしていただくという方法もあり、必要です。例えば給配食の業者と情報提供のための協定を結ばせていただくことも研究していきたいと考えます。

担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認をしました。）

本市高齢福祉課では、高齢者の方を対象に「配食サービス事業」を行っています。月曜日から土曜日の希望日に自宅に栄養バランスのとれた夕食を提供するとともに、利用者の安否確認をしています。ほかにも、「緊急通報サービス」、「福祉電話」など安否確認や見守りのための事業を行っています。（以下参考）
配食サービス事業

内容 市内のデイサービスセンターで調理した栄養バランスのとれた夕食を自宅に訪問して定期的に提供するとともに、その際、利用者の安否を確認し、健康状態に異常があったときには関係機関に連絡をします。

対象者 おおむね65歳以上の単身世帯、または高齢者のみの世帯で、疾病や心身の障がいのために調理が困難な方。

利用者負担 1食あたり500円

申請方法 高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）または担当ケアマネージャーに御相談ください。

※岡崎地区にお住まいの方は、高齢者よろず相談センター「とよだ」が担当になります。

高齢者よろず相談センター とよだ 住所 平塚市南豊田85-1

電話番号 0463-36-2501 FAX 0463-36-6151

（事務担当は高齢福祉課高齢福祉担当）

⑧ ごみ対策について

【参加者】

岡崎地区では鈴川の南側が田園地帯のため、車で大きなごみを運び、捨てていく人がいます。地域では捨てられたごみを集め、周りをきれいにして対策を行っていますが捨てる人が後を絶ちません。

【市長】

ごみ対策について、不法投棄は犯罪です。いたちごっこではありますが、地域の皆様の多くの目を見ていただき、対応していただくことはとてもありがたいことです。本市環境業務課と連絡を密にとっていただき連絡、通報を行っていただけると助かります。

御意見のとおり、きれいにしてごみを捨てさせないという対策もありますが、それでも捨ててしまう人がいます。監視カメラをつけなくてはならないような場所があることも聞いています。地域の皆様のお力に頼り、きれいにしていただくことは、効果的なごみ対策ですので、引き続き御協力をいただくようお願いいたします。

【参加者】

私は日頃から生活排水の浄化、生ごみ、野菜ごみを減らす、水道水利用の削減、電力使用の削減に取り組んでいます。自然環境を守るという観点からもこのような取り組みは大切です。また、このような取り組み、活動は継続していると生活の楽しみになります。

【市長】

大変ありがたい取り組みです。これからの市政には環境に配慮した生活のための施策がとても大切です。ごみの処理について、大磯町、二宮町と平塚市が広域でごみ処理をすることになりました。大神地区に新しい環境事業センターを造っています。この建物は燃したごみからエネルギーを取り込むという環境に配慮したものです。ごみ処理は1日に処理できる限度があり、今後は1市2町でどれだけごみを減らせるかということが課題になります。ぜひお願いしたいのは、ごみを出す時に少しでも量を減らしていただきたいことです。市民の皆様のお力でごみを減らしていただきたいので御協力をお願いいたします。また、資源化についても、1市2町で協力をしていきます。

節電対策については、市役所も東京電力の値上げの対象です。これから夏に向けて、サマータイムの実施等、節電への取り組みを行います。

7 市長によるまとめ

今日は様々な立場からの御意見をいただきありがとうございました。

改めて、岡崎地区はまちづくりの意識がとても高い地域であると感じました。私は生まれた地域と同じような気持ちでいつも岡崎地区と接してきました。地区の推進活動等で様々な取り組みをしていただいております、市内でも先端を走る地域であると認識しています。公民館主事の頃から皆様には貴重な御意見、御提案をいただいております。大変有り難く思い、現在の立場でも皆様の御意見、御提案をくみ上げられたら良いと考えています。

これからは地域の皆様による地域づくりが必要です。これまでのように行政が全て施策として行うことは難しくなっています。当然、行政が行うべきことについてはしっかりと着実に行っていきます。今後も市民の皆様、岡崎地区の皆様のお力を借りて地域がより良くなるための施策をさせていただきます。行政と一緒に市民の皆様、岡崎地区の皆様がまちづくりに取り組んでいただくことは平塚市がさらに輝くことにつながります。改めて御協力をお願いいたします。

今日は御参加、御傍聴いただき感謝を申し上げます、ありがとうございました。

アンケート結果報告

【回答数 53件（参加者 14件 傍聴者 39件）】

参加者・傍聴者について

年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
1名	0名	2名	4名	21名	24名	1名

性別

男性	38名
女性	12名
不明	3名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	5名	5名	10名
ポスターやチラシ	1名	2名	3名
町内会など地域から	6名	30名	36名
市ホームページ	1名	2名	3名
その他	1名	0名	1名
回答なし	0名	0名	0名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	8名	12名	20名
まあよかった	5名	18名	23名
どちらともいえない	0名	3名	3名
あまりよくなかった	0名	2名	2名
よくなかった	0名	1名	1名
回答なし	1名	3名	4名

質問3 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

回答

- ・要望の方が分かりやすかったという印象がある。
- ・議題に対して、事前に各部署で検討しておく必要がある。

質問4 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

回答

伝わった	8名
まあ伝わった	5名
どちらともいえない	0名
あまり伝わらなかった	1名
伝わらなかった	0名

質問5 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。(参加者対象)

回答

- ・岡崎地区の避難所について、対話を行いたかった。

質問6 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

回答

- ・市長さんのソフトな人柄が好印象でした。
- ・市長が誠実に分かりやすく答えてくれて、今後の市政への期待感が高まった。
- ・参加者の要望の場となってしまっている。
- ・大変良かった、今後も対話集会を続けてほしい。
- ・時間が短かった、提案が実現されるよう期待しています。
- ・市長さんの熱い心、参加者の岡崎地区への思いが伝わり大変素晴らしかった。
- ・一市民として「絆」を大切にして岡崎地区で過ごしていきます。
- ・議題を絞った方がいいと思う。
- ・市長の考えを聞くことができ、うれしく思いました。

- ・話すことは大切です、今後も続けてほしい。
- ・年に一度は対話集会を開催してほしい。
- ・話が断片的になり、少々残念でした。
- ・若い年齢の人にも参加してほしい。
- ・平日でなく、休日に開催してほしい。
- ・行政のトップである市長の話が非常に良かったと思います。
- ・防災対策は永遠の課題です。精力的な対策、計画を期待します。
- ・岡崎地区の問題点を改めて確認できて良かったです。
- ・まちづくりについて、考えてみたいと思いました。
- ・司会が上手で良かったです。
- ・対話の内容をもっと掘り下げてほしかったです。
- ・このミーティングを深めていけば、成果がでるはずです。
- ・今後も対話集会には関心を持ちます。
- ・県、民間と協力するリーダーシップをみせてほしいです。
- ・対話も増え、徐々に良い集会になってきています。
- ・参加者、傍聴者が多かった。
- ・事務局の運営がスムーズであった。
- ・市内各地で開催し、行政の考えを伝えてほしい。
- ・市民協働のまちづくりの大切さを感じました。